

波紋



Ripple

No. 331号



乾杯!



仕返しの蜜の味...



2012 家族忘年会

今年私は忘年会が終わったと同時に達成感よりも反省することが多くなりました。しかしそんな反省も踏まえ次回の家族忘年会に向け、幹事一同趣向を凝らし御家族の皆様ができるよう頑張りたいと思います。今後とも応援、ご協力の程宜しく御願ひします。

忘年会を進行するにあたり様々な準備が必要ですが、今回は7人の幹事以外に多くの方に手助けをして頂きました。手助けして頂いた皆さんに心よりお礼申し上げます。また何より参加して頂いた御家族の皆様、子供達、社員の皆さんが盛り上げて頂いている事を痛切に感じています。

忘年会幹事より
成瀬 勝英



『新年を迎えて』

社長 森 直樹



みなさま新年あけましておめでとうございます。2013年もよろしくお願ひ申し上げます。例年によって私は年間の目標をメール署名に加えることが年初にする一つの事です。今年の目標は、「先見(せんけん)」です。2012年、あつという間に過ぎていきました。一日、一週、一月、そして一年と過ぎていきますが一瞬一秒を過ぎてきたことの積み重ねです。時間が何となく過ぎていくことと、充実した結果早く過ぎていくという事では大きな隔たりがあります。その違いは目の前のことに忙殺されているのか、その先、そのまた先が見えて動いているかの違いだと考えます。足下、目の前だけで無くその先を見る。見て考える。という意味で、「先見」です。私自身、見えている範囲は非常に狭く、また非常に近くのことしか見えていないと感じますし見えていない部分が沢山あるという事は対応の遅れ、また準備不足といった結果となつてはつきりと返つて来てしまいます。目の前のことを全力で取り組みつつも、頭のどこかで半歩、一歩先のことを考えていく、そうすることの積み重ねで、より遠い先のこともはつきりとイメージできるようになるでしょう。そのような自分に近づけていくためにメール署名に付け加えます。

最後に12月12日に名古屋を出発し、この波紋が発行される頃には中国・成都滞在三週間目となる弊社森会長の安全と成功を祈りつつ、今年も良い一年でありますよう願っております。みなさま2013年もよろしくお願ひ申し上げます。



ラーメンってすごい人気！

大和田 夕美（企画営業部）



会社の近く？（車で10分ぐらいですが）新しいラーメン屋さん、オープンしました。

『麺屋はなび』というラーメン屋さんです。名古屋では結構有名なお店で、ネットで調べると、食ベログの名古屋地区のラーメンの上位には、必ずこのお店が掲載されています。コンビニでは、カップ麺も販売されるほど有名です。オープン当日は、ランチのみの販売で全品無料ということもあり、100名以上の行列ができたそうです。会社帰りに食べに行こうと何度か挑戦をしたのですが、19時頃でも20名程並んでいて、チャンスをおがしてきました。ところが先日数名しか並んでおらず、行って並んでみると待つこと15分でお店に入り食べることが出来ました。

メインメニューは「塩」と「台湾まぜそば」です。「台湾まぜそば」とは名古屋では有名な台湾ラーメンの汁なしラーメンになります。結構辛いようなので、辛いのが好きな方は是非挑戦してみてください。私は「塩はなび」という塩ラーメンの具全部のせを食べましたが、スープはあっさりしており、とてもコクがあつて美味しかったです。具が多かったので、満腹になりました。次は具が少なめの「塩ラーメン」にしようと思います。まだオープンして2ヶ月しかたっていないです。まだまだ混んでいますが、また食べに行きたいと思います。皆さんもぜひ食べに行ってみてください。



森林リレーマラソン

小坂 美香（営業部）



12月2日（日）に行われた「第1回森林リレーマラソンフェスティバル」に参加してきました。尾張旭市にある森林公園が会場となっており、1チーム2名、8名までの構成で、1周約2.7kmを4時間で何周走れるかを競います。

このマラソンに参加すると決めてから本番までの約1ヶ月間、家の周りや近くの公園で走る練習をしましたが、同じように走っている人が結構いる事に驚きました。マラソン初心者の方は、初めは1kmもまともに走れず、こんな事で完走出来るのかと不安でした。週1回だった練習を2日に1回や、1日おきと回数を増やしていく、走れる距離も少しずつですが増えていきました。ただ練習では2.7km完走する事無く本番を迎える事になってしまいました。そして本番当日「イケメンエスコートランナーがサポートしてくれる」とか「仮装して参加も出来る」など事前に聞いていたので、気楽な気持ちで行ったら、みんな本格的な格好で仮装をしていそうな人は見当たりませんでした。これはマズイと思っていいたら、一部の人がサンタの帽子を被ったり、着ぐるみを着たりして参加していました。その他、子供や年配の方など年齢層も幅広く、いろいろな人が参加していました。少し安心しました。ところが実際にスタートしてみると、みんな速くてビックリ。エスコートランナーらしき人も見当たらず、さっきまでの安心感はずぐに消え、緊張と不安でドキドキでした。その間にも次々に走者が変わり、いよいよ私の走る番が回ってきました。走り始めてしばらくすると、後ろから来る人にどんどん追い越され、おまけに小学生にまで抜かれて焦ってしまい、ついペースが速くなつていくのが分かりました。これでは最後まで持たないと思い、ちょうど私の前を走っていた女性と同じようなペースだったので、その人をペースメーカーとして行く事にしました。コースの途中では砂利道で走りにくかったり、最後の最後で登り坂があったりと苦しかったですが、何とか完走する事が出来ました。途中でミズレが降りとても寒かったですが、無事に終わり今はホットしています。ちなみに結果は、116チーム中（その内3チームはリタイア）87位でした。



あの頃の森松

牧野 光昌 (企画営業部)



私は1978年に入社しました。この年は何があつたかといえば、キャンディーズの解散、ピンクレディーがレコード大賞、サザンオールスターズがデビュー。野球ではヤクルトの初優勝、相撲は北の湖の全盛時代でした。当時の事務所は、現在の要工場のプラスチックグローブが置いてある所でした。これまでの人たちが書いている「あの頃の森松」の中では「要工場の2階」という場所が登場してきておりますが、まだその建物そのものが存在してなかった頃です。現在NCが置いてある所が唯一の倉庫で、人が一人通れるくらいの通路の両側に天井まで届くくらいに積み上げられた棚に在庫原反がびっしり詰められていました(ここへ原反を入れるのも 出すのも めちゃめちゃ大変。でもそうしないと在庫原反が全部入らなかつた。)さらにこの倉庫の奥には部屋があつて社員の人が住んでいた。つまり現在のNC工場のスペースの1/2くらいが唯一の倉庫スペースだったので。私は事務員で入社して、電話番号と荷受け業務を中心に、その他雑用なら何でもOKで仕事をしていました。荷受けでは入荷した原反が一人では棚に入れられないので、一旦倉庫の外に立てかけておきます。夕方 営業や配送の人たちが戻ってくると、みんなで倉庫の棚へ入れる作業をします。倉庫の中の通路は狭いのでリフトは入れません。シート原反は下の方の棚へ入れます。織物や繊維系原反は比重が軽いので上の方の棚へ入れます。その時は下から原反を投げる人が居て、上段の棚の上で受け取る人が居ます。下からガンガン投げて、上でそれをバシバシ受け取って上の棚の中に入れます。タイミングがずれて受け取るのに失敗すると、下で投げた人は、一目散に逃げて、落ちてくる原反をかるうじて避けます。そんな危険な作業が当たり前のように毎日行われていました。

事務員の私のもう一つの仕事の電話番号も楽しかったです。当時のお客様にはわがままな人が居ました。電話に出るなり「〇〇居るか!」当時の上司の名前を言います。「どちら様ですか?」ときくと「はよー代われ!!」と怒鳴ります。そして上司に事情を話して代わって下さい、と言うと「誰から電話だか分からん電話にでれるかー。とつとと名前を聞かんか!」と怒鳴られます。今のように電話番号がディスプレイに出ないので、名前を言わないお客さんは声で覚えるしかなかったのです。もつとひどいお客さんは私が電話に出たとたんに「お前はどこへ電話しとるんじや!!」と言つて突然どなりだします。「いえ、今はそちらから御電話を掛けてくれたのですが・・・。」と答えると、「アホかお前は!!」といつてガチャと切られます。とにかく電話に出るのがとても楽しかつた・・・と記憶しております。当時は電子メールどころかFAXもありませんので、注文書は郵便で送る。急ぎの場合は電話で御願います。でも商品知識がないから電話ではなかなか伝わらない。もちろんインターネットも無いから、商品を覚えようにも情報が少ない。わずかに会社にあつた見本帳やカタログなどで必死に覚えるしかなかつた。たまに先輩にきくと「自分で調べろ!」と怒鳴られるからです。でも、原反の納期は再生品で2〜3週間、バージンなら1ヶ月以上かかつて普通でしたから、のんびりした時代だつたと思います。今は便利な道具が沢山出来ましたが、それ以上にスピード化が進んで、製品の納期で10日間とか2週間とか・・・。慌ただしい時代となりました。インターネットでなんでも調べられるのも昔に比べたら夢のようです。その分、何かを必死に覚えようという心構えは無くなつてしまつたかなあ・・・。

142857

突然ですが、数字のお話なので横書きにさせていただきます。私数学は嫌いですが、この数字にまつわる話は好きなので紹介したいと思います。

(1) 1を7で割ると

$$1 \div 7 = 0.142857142857142857 \dots$$

(2) 掛け算

$$1 \times 142857 = 142857$$

$$2 \times 142857 = 285714$$

$$3 \times 142857 = 428571$$

$$4 \times 142857 = 571428$$

$$5 \times 142857 = 714285$$

$$6 \times 142857 = 857142$$

$$7 \times 142857 = 999999$$

(3) 真ん中で切って足してみる

$$142 + 857 = 999$$

$$14 + 28 + 57 = 99$$

(4) 2乗してみる

$$142857 \times 142857 = 20408122449$$

$$20408 \quad 122449$$

$$20408 + 122449 = 142857$$

(5) 切って2乗してひいてやる

$$(142 \times 142) - (857 \times 857) = -714285$$

整数を掛け算したときに循環する数字をダイヤル数と言う。

(4) みたいなことがなぜか起こる数字をカプレカ数と言う。

この定義でいうと、25番目のカプレカ数であり、であり、一つ前のカプレカ数は99999だそう。

これを家で子供に教えられたらヒーロー間違いなし。

※調べて勉強しようとするのと深みにはまって行くので注意。



